

各 位

平成 25 年 9 月 24 日
中越パルプ工業株式会社

「竹紙」の取り組みが第 3 回「生物多様性日本アワード」優秀賞受賞

このたび、当社の「竹紙（たけがみ）」の取り組みが、第 3 回「生物多様性日本アワード」（主催：公益財団法人イオン環境財団）において、「優秀賞」を受賞いたします。

「生物多様性 日本アワード」は、2010 年に日本で生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）が開催されたのに先立ち、2009 年に公益財団法人イオン環境財団が環境省との共催で日本の生物多様性の保全と持続可能な利用の促進を目的に創設したものです。日本在住の団体・個人による生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取り組み 104 件の応募の中から、特に優秀な事例として高く評価されたことを関係者一同光栄に存じます。

公益財団法人イオン環境財団 生物多様性オンラインマガジン The MIDORI Press

http://www.aeon.info/news/2013_2/pdf/130917R_1.pdf

日本においては、長い間、人と自然の共生が維持され「里山」など生物多様性にあふれる独自の素晴らしい環境が整っていました。しかし近年、社会的な理由から人と自然の関係が保たれなくなり、私たちの暮らしのよりどころである里山での生物多様性損失が大きな問題となっています。当社の竹紙の取り組みは、本来紙の原料として不向きな日本の竹を製紙原料として活用しています。



1998 年より開始し、試行錯誤の結果、現在年間 2 万トンを超える集荷体制を整えました。紙の製造という当社の本業を通じて、全国的に広がる放置竹林という社会的課題に挑戦しています。

竹を大量に使用することで、手入れされずに放置された竹林の里山や森林への侵食を防ぎ、失われつつある二次的自然環境を持続可能な形で保全・利用しています。

以 上